

広報にらさき

Aug 2015

Nirasaki 8

Vol.811

SPECIAL EDITION

ここに住む人 🏠 ここに移り住む人 👤
移住者と地域、ともに幸せになるために

白髯神社の祭典

7月12日、水神地区

水神

私たちが住む韮崎市。
皆さんは住むということをどれだけ深く考え、
そして感じていますか。
長年この地で暮らしている方のなかには、特別に意識しないで生活
している方もいるかもしれません。

韮崎市にはこの地を選んで移り住んだ人が数多くいます。
その人たちにとって韮崎市はどのように見えているのでしょうか。

ここに住む人、ここに移り住む人

みんなが喜びを感じ、幸せになるために
今、私たちにできることを考えてみませんか。

幸せになるために

地域に新しい 風を吹き込む

我が国は、年々人口減少の一途をたどっており、特に地方では、過疎化の進行や、少子高齢化や雇用不足といった問題が各地で起きています。

その一方で、都市部での生活が合わない人、農村での生活を希望する人など理由は様々ですが、地方に移住し新しい生活を始めるという動きが活発化しています。

田舎暮らしをテーマにした雑誌やテレビ番組、移住者向けのホームページも多数存在し、地方の移住者受け入れ体制も次第に整ってきています。移住者の増加は、生産力の向上、地域の活性化など多くのメリットがあるのです。

しかしながら、この現状を本市に置き換えて考えてみた場合、移住希望者が増加している半面、移住者の受け入れ体制がまだまだ発展段階にあり、課題が山積みでもあります。

受け入れ側である私たちはこの課題を解決する仕組みや環境、そして風土をつくり、地域活性化に繋がる移住者受け入れ体制を整える必要があります。



SPECIAL EDITION

ここに住む人[🏠]ここに移り住む人^{👨👩} 移住者と地域、ともに

撮影場所：上ノ山 移住されたご家族の日常の様子

これを解決する方法の一つが、地域に「受け入れ力」があるかどうかです。これは移住希望者を好意的に受け入れる風土や環境のことです。

良い面も悪い面も含めた等身大の人間関係を移住者と築きあげ、生活環境に慣れるよう地域の方々がサポートすることで、受け入れ力は養われると思います。

もちろん移住者自身の努力も必要ですが、地域に住む方々のちよつとした気遣いや行動で、お互いの気持ちが進み寄れると思いますよ。

やまなし暮らし支援センター
移住専門相談員
倉田貴根さん



空き家バンク利用者に聞く この地に移り住むということ

地域、そして人とのつながり

穴山町在住 阿部公則さん

わかなさん

本市には、空き家バンク制度を利用して、この地に移り住んできた方々がいます。

今回ご紹介する阿部公則さんご家族もそのうちのひとりで、4年前に群馬県から穴山町へ移住された経験をお持ちの人です。

移り住むまでの経緯、そして地域に住んでみて感じたことなどを伺ってみました。

コンパクトで暮らすには
ちょうど良い環境ですね

木工作家として「椅子」を中心に作品を制作している阿部さん。子どもたちの成長に伴い、住居兼工房を探すにあたり、静かで環境の良い場所として、出身地であり活動の拠点であった群馬県が、わかなさんの出身地でもあり、知り合う前から憧れのあった八ヶ岳のある山梨に移住先を



探していたそうです。第一候補として八ヶ岳の麓の中古物件や空き家物件を探していましたが、条件に合う物件が見つからず候補地を広げ、たまたま蕨崎市の空き家バンクを検索したところ、現在住む穴山の物件を目にして、すぐに見学に行ったとのこと。蕨崎市に関してはある程度は知っていたものの、穴山町に関してはほとんど知らず、実際に住んでみると、家から保育園は目と鼻の先、駅もあり、小学校はスクールバス、ショッピングモールも車で15分圏内にあるなど、生活エリアがコンパクトにまとまっていて、暮らすにはちょうど良い環境



だと感じたそうです。

人とのつながりが無理せず地域に溶け込めた要因のひとつですね

「引越してきてすぐに子どもが保育園に入園したので、地元の保護者との輪が広がりました。今でも良いお付き合いをさせてもらっています。妻が県内出身であるということも、溶け込みやすかったし、心強かったですね。」と話すように、人とのつながりが無理をせず自然に地域に溶け込める要因のひとつのようです。

また、地区の青年会に入ったことはとても良かったとのこと。行事に参加することでお互いに顔を知ることができ、そして徐々に知り合いが増えるにつれて、地域の一員としてこの地に暮らしている実感が持てるようになったそうです。

つながりは地域の枠をこえて広がります

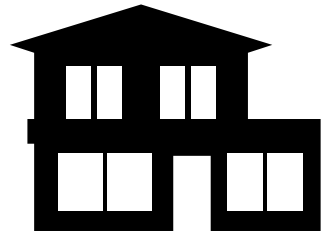
現在の阿部さんと言うと、7月から、駅前通りの商店街の空き店舗を改装して、自らが制作した「椅子」を販売する店舗を開店しました。準備段階で出合ったこの地域に根ざし、さらに将来を見据えて



7月にオープンした店舗の様子 素敵な椅子がディスプレイされています。(abe 椅子店 中央町)

頑張るお店の方々や、開店準備に協力してくれた方々とのつながりを大切にしたいお店を築いていきたいという気持ちが芽生えてきたそうです。「このつながりが地域という枠をこえて、さらにその先へと広がっていく大切なものになるでしょう。」と話す阿部さん。

店舗には、阿部さんが制作した一点物の椅子が並んでいます。ここでの出会えないもの、またここに來たいと思ってもらえる作品を制作しつづける阿部さん。穴山に移り住んで5年目にして、この地を自らの創作の拠点とすべく家族の協力を得て、新たな一歩を踏み出しました。



市では、空き家を貸したい、売りたいという空き家所有者と空き家を借りたい買いたいという空き家利用希望者の双方の橋渡しを行う「空き家バンク」制度を平成19年度から展開し、市への移住定住を応援しています。

しかしながら、現在、空き家バンクの利用希望に対し、登録物件の数が大不足しています。空き家の所有者で貸し出しや売却が可能な方には登録をお願いすると同時に、皆さんのご近所に空き家がある際には、所有者に登録を呼びかけるなどのご協力もお願いします。

☆空き家バンクへの登録方法

① 申込書の提出

「空き家バンク登録申込書」と「空き家バンク登録カード」に必要事項を記入のうえ、企

移住者を受け入れる取り組みの一つです！ 空き家バンクへの登録

画財政課人口対策担当へ提出してください。（郵送可）

② 現地調査・登録

市が現地調査に伺い、物件の確認を行った上で「空き家バンク」へ登録します。

③ 物件情報の公開

市ホームページ等を通じて次の物件情報を公開します。
・登録番号／賃貸又は売却の別／住所（字まで）／契約

方法／希望価格／建物等の概要（階数、構造等）／利用状況／設備状況／主要施設等までの距離／位置図及び間取り図／写真

④ 物件の交渉

登録された物件に対して利用希望があった場合、市より物件所有者へ利用希望者の連絡先などを通知します。

物件交渉は、登録時に選択された契約方法により次のいずれかの方法で行われます。

◇ 当事者間で行う場合

物件所有者へ市から通知後、両者で交渉となります。

◇ 宅建協会の仲介を依頼する場合

物件所有者へ市から通知後、宅建協会登録の不動産業者が交渉を仲介します。（法律で定められた仲介手数料が発生します。）

※ご注意ください

市は売買・賃貸の仲介など契約交渉に関与はしません。また、契約上のトラブル等は、責任をもって「所有者等」と「利用希望者」の当事者間で解決をお願いします。

ご存知ですか？

空き家バンクリフォーム補助金

市では、空き家バンクへの登録を促進するため、空き家バンク登録物件を対象に、リフォーム工事や残存する家財の処分に係る費用に対し補助金を交付します。

リフォーム工事

空き家バンクに登録された空き家で、安全性、居住性、機能性等の維持または向上のために行う修繕、模様替え、増築等に係る工事

◎要件

- ・市内に存在する、住居として利用可能な一戸建ての個人所有の住宅であること
- ・経費の総額が20万円以上であること

- ・市内に本社、支社、支店又は営業所等を有する法人及び市内で事業を営む個人事業者により実施する工事で

移住希望者の多様なニーズに応えられるよう、市では様々なタイプの空き家を探しています。まずは私たち人口対策担当にご相談ください。



あること

◎補助額

工事費用の1/2又は100万円のうちいずれか少ない額

家財処分

空き家において使用されず残置された状態の電化製品、家具、食器その他の家財道具を処分する経費
ただし経費の総額が5万円以上であること。

※特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）に基づく処理費用は除く

また、処理・処分は、一般廃棄物処理業の許可を受けている業者が実施するものであること

◎補助額

処分費用の1/2又は10万円のうちいずれか少ない額

■問い合わせ

企画財政課人口対策担当
（内線 358、359）



6月6日、田植えの様子

地域に人を呼び込む取り組みの実践 「田んぼオーナー制度」 がつなぐ人の輪 清哲町中谷農地管理組合

田んぼオーナー制度が始まった背景には、中谷地区の農家の後継者不足等による耕作放棄地の増大という深刻な問題がありました。

地元農家の方々で構成される中谷農地管理組合の皆さんは、都会にはないすばらしい棚田の風景が失われていく現状を目の当たりにして、この美しい景観を武器に、農業を経験したことのない都市部の方々との交流を通じ、農業を守り、他からの人を受け入れることで新しい風をこの地に吹き込み、地域を元気にしようと考えたと言います。

今年度、本格的に始動した田んぼオーナー制度には、東京都内や山梨県内にお住まいの4組のご家族が参加。農家の方々から指導を受けながら、自ら苗を植え、田の草をとり、そして収穫する喜びを味わっていただくそうです。

田んぼを舞台にした人と人の交流を通じ、まずは韮崎を知ってもらい、好きになってもらうことが重要。そして将来的にはこの取り組みにより人の輪が広がり、一人でも多くの方がこの地に移住し、地域を活性化させるのを目標にこれからも中谷農地管理組合の取り組みは続きます。



田んぼオーナーと中谷農地管理組合のみなさん。 7月5日、清哲町中谷地区の水田にて撮影

県外等で開催される移住セミナーへご協力いただける方を募集

市では、本市への移住希望者を対象に移住セミナーを東京のやまなし暮らし支援センター等で開催しています。セミナーに訪れる移住希望者は、移住への悩みや不安をかかえており、こうした方々の要望に応えるため、実際に本市へ移住された方々による体験談などもセミナー内で紹介しています。今後も定期的に移住セミナーを開催する予定です。そこで、実際に移住された方をはじめ、長年暮らしている地域の皆さんにも、ぜひセミナーにご参加いただき、移住希望者のサポートをお願いします。

■申し込み・問い合わせ 企画財政課人口対策担当 (358・359)

田んぼオーナー制度は 人と人とのふれあいの場なんです

中谷農地管理組合・組合長
藤巻正朝さん



中谷農地管理組合で組合長を務める藤巻正朝さん。米作りを通して中谷地区の活性化に取り組む中心的存在。

中谷農地管理組合の組合長として、地域の農家の仲間と田んぼオーナー制度などに取り組んでいます。組合員一人ひとりが、この地域の現状に対する危機意識を持っていて、みんなで頑張っているという機運が強いんですね。私たちの取り組みには、これといった凝った仕掛けは無いんです。ただ私たちが普段行っている生活や農作業の一部を経験させてあげるだけなんです。しかし、これが都会の方々には魅力的なんですよ。たとえば、縁側でお茶を飲みながら世間話をする。自分の手で収穫したお米でおに

ぎりを作ってみんなで食べる。私たちにとっては当たり前のことですが、都会の方には新鮮なんですよ。それらの行為には人と人とのふれあい、気持ちのつながりがあるんです。これがあるからこそ、葦崎に愛着を持ってもらえると同時に、また葦崎を訪れたいとも感じてもらえるんだと思います。

田んぼオーナー制度はまだ始まったばかりですが、この取り組みを通して葦崎の素晴らしさを知ってもらい、多くの方に訪れていただき、そして住んでもらえるようになってほしいと思います。



初めて見た“おたまじゃくし”に笑顔を見せる武琉くんと理咲子ちゃん →



地元の方とのつながりを感じる企画ですね

田んぼオーナーの一人 阿部直範さん

今は仕事の関係で甲府市に住んでいますが、出身は東京です。農業経験がなかったので、私達だけでなく子どもたちにもいい経験になると思い参加しました。地元の方々が暖かく迎え入れてくれる気持ちが伝わってきます。葦崎は東京からも近く、気軽に訪れることができるので、このような企画があるのはいいですね。正直いってもっと事務的で堅苦しいイベントかなって思っていたんですが、とても心がこもっていて、地元の方との距離も近く、人とのつながりを感じるいい企画ですね。



甲府市から参加の阿部さん家族
麻衣子さん 直範さん
武琉(たける)くん 理咲子(りさこ)ちゃん



富士山を望む穂坂ぶどう郷で、ぶどうの収穫体験や、レストランで美味しい食事。
葦崎で男女の出会いを見つけませんか？

「ぶどう畑 de 婚活 in にらさき」参加者大募集

- 開催日：9月27日(日) ■参加料：9,000円 ■対象：25歳から45歳までの独身男女(各12名)
- 申込締切：9月7日(月) ※市HPでダウンロード又は企画財政課窓口で配布の申込書に必要事項を記入のうえ、郵送・持参・メールのいずれかでお申し込みください。(応募多数の場合は抽選)
- 申し込み・問い合わせ 企画財政課人口対策担当(358・359) Eメール：kikaku@city.nirasaki.lg.jp



市民のみなさんにインタビュー

市民の皆さんが考える、 移住・定住、 地域での暮らし。



**人口問題は自分たちの暮らしに
直結する重要な事という意識付
けをすることが大切**

浅海良一さん（会社員・富士見ヶ丘）



学生時代に一度荳崎を離れましたが、現在は市内に勤務しています。普段なかなか人口問題ということ考えたことは無かった

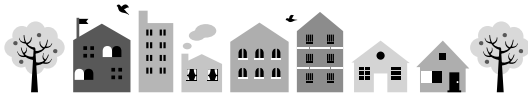
ですが、あらためて考えてみると、私たちの暮らしや、行政サービスなどにも直結する重要なことなんだと実感しました。

**気軽に参加できる地域のサークル活動があると
地域に溶け込みやすいですね。**

名取知佳さん（主婦・穂坂町）

新潟県出身で、結婚を機に荳崎へ来ました。

家族以外に知人もいなかったの
で、最初は戸惑いもありましたが、
地区のバレーボールの集まりなど
に参加させていただき、地域の方々
にも顔を覚えていただき、自然と地
域に溶け込むことができました。こ
のように、地域内にみんなが気軽に
参加できるサークルがあると、他から来た方が地域に溶け
込むきっかけになるのではないのでしょうか。



**自らも地域に溶け込もうとする
努力が必要だと思います。**

内藤良子さん（主婦・富士見）



出身は埼玉県
で、結婚を機に荳崎へきました。

現在は、アパ
ート暮らしなので、
地域とのつなが
りもそれほどあ
りませんが、将来
的には、夫の家族
との同居も考えているので、やはり地域
に入るということも意識しています。そ
のためにも自分自身が荳崎を好きになり、
この地に愛着をもつことで、地域に少し
づつ受け入れられるよう努力していきたい
ですね。

**地域に顔見知りがあると
心強いですね！**

内田貴子さん（主婦・藤井町）

仕事の関係で夫と一緒に熊本県
から荳崎に来ました。アパート暮ら
しで、地域内にはほとんど知り合い
がいませんが、近所に良く話かけて
くれる方がいて顔見知りになりま
した。だれも知らない地域だけに、何かあった際には、そ
ういう方の存在は心強いですね。



**交流人口を増やす！これも
重要なことだと思います。**

保阪正裕さん（果樹栽培・一ツ谷）

荳崎の果樹や自然といった魅力をも
っと発信して、多くの方を荳崎に
呼び込みたいですね。移住だけにと
らわれずに、交流人口を増やすとい
う取り組みも重要だと思います。多
くの方が集まる場所には自然と人も寄ってくると思います。

移住者と地域、 ともに幸せになるために、 一緒に取り組みませんか。

市では、現在、市民の皆さんにとって「住みよいまち」「住み続けたいまち」また、移住・定住を希望する方々にとって魅力的なまちである為に、人口減少対策への取り組みを国、県、他市町村と連携しながら、効果的かつ戦略的に実行するため、「葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定作業を進めています。

この総合戦略には①「産業・雇用の創出」②「移住・住宅の促進」③「結婚、婚活・出産、子育て支援」④「地域のつながり、安心・安全の確保」の4つの基本目標を掲げ、行政だけではなく、市民の皆さん、事業者、NPOなど、多くの方々や団体と連携し、策定作業を進めています。

また、東京の有楽町にある「やまなし暮らし支援センター」とタイアップし、葦崎市移住セミナーを定期的に実施。これについても、先輩移住者の皆さんにご協力いただくなど、市民参加による取り組みを進めています。

移住・定住対策は、行政だけで取り組めるものではありません。もちろん仕組みづくりとしての行政の役割は必要ですが、ここに住む皆さんが、移住者を受け入れ、手助けをする意識も重要であります。移住をする人も、移住を受け入れる私たちも「一人」です。そこには、「心」という目に見えないものが存在します。もちろん移住者自身の努力も

必要ですが、こうした意識を心がけることで、双方の気持ちを通じ合い、移住へのステップを踏めるはずですよ。

今後、市では、広く市民の皆さんにご参加いただくなかで新たに「チーム葦崎移住応援サポーター」を組織し、移住希望者をサポートするほか、移住セミナーへのご協力や空き家バンクへの登録を引き続き呼びかけていきますので、ぜひご協力をお願いします。

ここに住むすべての皆さんが「チーム葦崎」の一員です。

移住者と地域、ともに幸せになるために、一緒に取り組みませんか。

今年の総合防災訓練は8月30日(日)

参加しよう！防災訓練

市では毎年、防災週間（8月30日～9月5日）期間中の日曜日に、市内一斉の総合防災訓練を実施しています。

近年、各地で多発する自然災害——。その被害を最小限にするためには、住民の皆さん一人ひとりの取組と地域の協力が不可欠です。

この機会に、いざという時に取るべき行動と、日頃の災害への備えを確認するよう、お住まいの地域の防災訓練に積極的に参加しましょう！

8月30日(日)の訓練の流れ

当日は、「休日の朝に、台風が接近している中、大地震が発生した」という想定で、自主防災会（地区）ごとに訓練を実施します。



実際の避難場所を会場とした「特定地区防災訓練」での炊き出し訓練の様子（葦崎北西小学校）

午前 8 : 00

地震発生情報
(防災行政無線サイレン)

ウ〜〜！
ウ〜〜！

各地区訓練

避難準備・開始
(※地区の訓練への参加)



- 午前 8 時に防災行政無線による**サイレン放送（訓練用）**を行います。
- 地震時は机の下にもぐるなど、**まずは身の安全を確保**して、揺れがおさまったのを確認してから、ドアや窓を開け避難路を確保しましょう。
- 家族の安否、火の始末が確認できたら、ラジオや HP などでの情報収集をしましょう。



※訓練当日は、メディアによる放送等はいりません。

【避難準備情報について】

◎午前 7 時に要配慮者（発災時に介助を必要とする方）の優先避難訓練のため、防災行政無線で市内全域に「避難準備情報（訓練情報）」が流れますが、一斉訓練（サイレン放送）は午前 8 時に行いますので、ご承知おきください。

- 地区ごとに計画された避難誘導・避難所開設等を行う「初動訓練」や、住民の避難状況を市の災害対策本部に伝える情報伝達訓練などの「応急対応訓練」を実施します。事前に集合場所などを確認の上、地区訓練に参加してください。

※一部地域では 8 月 30 日と別日程で行う場合があります。地区の実施日程をご確認ください。

※各地区訓練にあわせ、消防団が消防ポンプ自動車等による避難誘導（巡回放送）訓練を行います。

H27 年度 防災訓練 共通取組

市内全地区での共通訓練として、市民の皆さんに取組んでいただく項目を 2 つ設定しました。

個人でできる減災にチャレンジしてください！

- 個人の飲み水（500ml のペットボトル等）を持って避難しましょう。
- 土砂災害（洪水）ハザードマップで危険箇所や避難先を確認しましょう。

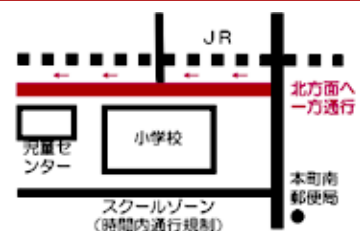
葦崎小学校周辺道路の交通規制について

防災訓練当日、葦崎小学校を使用した避難所開設訓練のため、小学校の東側道路の一部区間について、交通規制（一方通行規制）が行われます。消防団が誘導いたしますので、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

■日時：8 月 30 日（日）8 : 00 ～ 9 : 00

■場所：市道葦崎 86 号線 中央線日の出町ガード

～ 葦崎児童センター 間



■問い合わせ 総務課防災交通担当（内線 339・399）

大切なのは、ほんの少しの心がけ

生ごみを捨てる前に ひと絞りにしていますか？

生ごみの約80パーセントは水分で、可燃ごみの約4割を占めています。生ごみを捨てる前にひと絞りして、しっかりと水切りをしましょう。

特に夏野菜には水分が多く含まれているため、しっかりと水切りすることで、次の事が期待できます。

- ①臭いや虫の発生を防ぐ
- ②ごみ捨ても楽になる
- ③ごみ処理効率も上がる

また、生ごみの中に、食べ残しや手付かずで捨てる食材が入っていないですか？

生ごみの減量は「もったいない」がスタートです。生ご



みの捨て方を見直してみよう。

①食事を作るときは食べられる分だけ作る。

②食材を買う際は献立の計画を立て必要以上は買わない。

※市では、家庭用の生ごみ処理機の購入補助（購入費の2分の1 ※上限25,000円）を行っていますのでお問い合わせください。

あなたの土地・・・ きちんと管理していますか？

毎年、この時期になると市内のあちこちで、雑草等が繁茂し、荒れてしまっている土地（空地等）を見かけることがあります。

そのような土地は、近隣者への迷惑になることはもとより、害虫の発生原因にもなります。

また、土地が荒れてしまっていると、ごみの不法投棄の原因になります。

適正な土地の管理を行い、住み良いまちづくりに心がけましょう。

使用済・賞味期限切れ天ぷら油の回収に
ご協力願います！

市では、ご家庭で使用された天ぷら油などの廃食油を回収しています。

- ・賞味期限切れの植物性油
- ・天ぷら等で使用した油
- ※天かす等は取り除くこと

■回収日時 毎週土曜日
13時～16時

■回収場所

市役所裏駐車場
龍岡公民館グラウンド

■回収方法

ペットボトル等の容器に入れて会場内に用意してあるポリタンクへ移してください。
※容器は持ち帰りください。
※未使用の場合は、そのまま回収場所にて収集します。

■注意事項

- ・機械油は収集しません。
- ・食堂など業務上の廃食油は回収できません。

■問い合わせ

環境課環境政策担当
(内線 131・132)

彰 表 平成26年度葦崎市建設工事 優良施工業者を表彰(6月23日)



適正な建設工事の施工と、卓越した技術等により、優れた成績で、昨年度、建設工事を完成させた施工業者として、次の事業所が表彰されました。
おめでとーございました。

☆土木・舗装工事部門

富士島建設株式会社

駒井土建株式会社

有限会社 相馬組

☆建築工事部門

有限会社 岩下建設

☆電気工事部門

関東電設株式会社

葦崎市社会福祉協議会職員を募集

平成28年4月採用

採用職種	採用者数	採用日	募集受付	試験日			資格要件等
				1次	2次	3次	
社会福祉士	1名	平成28年 4月1日	7月13日(月) ～8月14日(金)	9月20日(日) 筆記試験	10月25日(日) 面接試験	11月13日(金) 面接試験	詳細については、 「試験案内(市社会福祉協議会で配布)」をご覧ください。

■申し込み・問い合わせ 葦崎市社会福祉協議会 ☎ 22-6944

健診は受けた後が重要です

健康寿命の延伸は・・・ 総合健診結果の見直しから

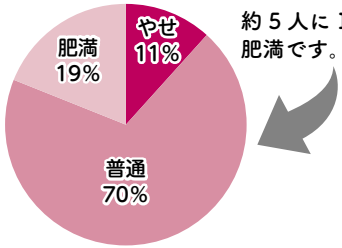
健康状態をチェックする「健診」は、一年に一回、定期的に受診することが大切です。食はず、運動不足、飲酒、喫煙など偏った不健康な生活習慣を続けていると、健診結果に異常があらわれます。異常を早く見つけ、生活習慣を見直すことが、健康寿命の延伸への近道です。

見過ごさないで
異常のサイン

昨年度に総合健診を受診した40歳～74歳までの方の結果は下記のとおりです。市のメタボリックシンドローム該当者は23%であり、これは県全体に比べて高い割合です。

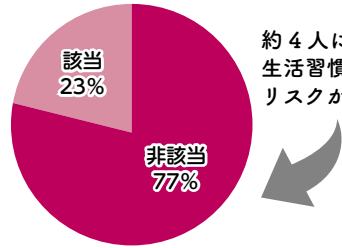
メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常（悪玉コレステロールや中性脂肪が高い等）のうちいずれか2つ以上を併せもった状態をいいます。「血糖値がちよつと高め」「血圧がちよつと高め」といった、まだ病気とは診断されない予備群もそれぞれが重複することで糖尿病や高血圧、脂質異常症等の生活習慣病のリスクが高くなります。

肥満 (BMI)



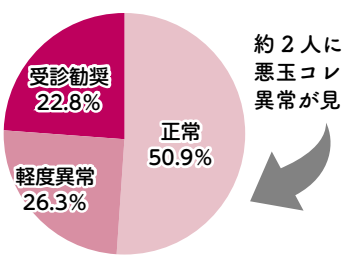
約 5 人に 1 人が肥満です。

メタボリックシンドローム



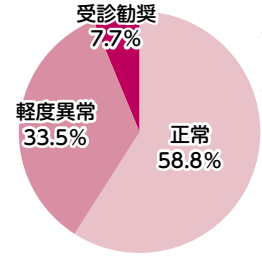
約 4 人に 1 人が生活習慣病のリスクがあります。

LDL (悪玉) - コレステロール値



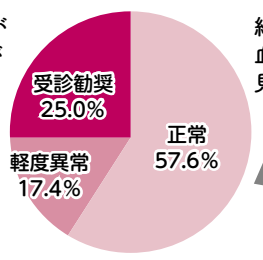
約 2 人に 1 人が悪玉コレステロールに異常が見られます。

血糖値



約 3 人に 1 人が血糖値に異常が見られます。

血圧値



約 3 人に 1 人が血圧に異常が見られます。

☆総合健診結果報告会日程表

健 診			結果報告会							
受診場所	受診日		69 才以下			70 才以上				
			日 程		会 場	日 程		会 場		
円野	7月14日	火	8月26日	水	午前	8月21日	金	つぶらの会館		
清哲	7月15日	水				8月25日	火	清哲会館		
神山	7月16日	木				8月26日	水	武田の里ふれあいホール		
旭	7月17日	金				8月27日	木	旭公民館		
荏崎①	7月18日	土				8月28日	金	保健福祉センター		
荏崎②	7月19日	日				9月1日	火	保健福祉センター		
未受診①	7月26日	日				9月7日	月	保健福祉センター		
藤井	7月29日	水				9月8日	火	藤井公民館		
中田	7月30日	木	9月9日	水	午前	9月9日	水	中田公民館		
穴山						9月9日	水	穴山公民館		
未受診②	7月31日	金	9月13日	日	午前	9月11日	金	保健福祉センター		
竜岡	10月6日	火	11月17日	火	午前	11月17日	火	竜岡公民館		
大草	10月7日	水	11月19日	木	午前	11月18日	水	大草ふれあいセンター		
穂坂	10月8日	木				11月19日	木	穂坂コミュニティセンター		
未受診③	10月17日	土	11月27日	金	午前	11月27日	金	保健福祉センター		
未受診④	10月18日	日	11月29日	日	午前	11月27日	金	保健福祉センター		
未受診⑤	10月22日	木	12月1日	火	午後	12月1日	火	保健福祉センター		
未受診⑥	10月23日	金	12月3日	木	午前	12月3日	木	保健福祉センター		
未受診⑦	10月24日	土	12月4日	金	午後	12月4日	金	保健福祉センター		
未受診⑧	10月25日	日	12月6日	日	午前	12月4日	金	保健福祉センター		
未受診⑨	11月14日	土	12月21日	月	午後	12月21日	月	保健福祉センター		

※昨年度と結果報告会の実施方法が変更になりましたので、該当の方は通知された封筒の中身に記載されている時間帯・会場をよくご確認の上お越しください。

特定保健指導で

生活習慣病の改善をサポート

市では、国民健康保険加入者の40～74歳の方を対象に「特定保健指導」を実施しています。

これは、健診を機に自身の健康状態を把握してもらい、生活習慣を振り返りながら、改善できることを保健師や管理栄養士と一緒に考え、具体的に組み込むものです。

① 受診者すべての方に 情報提供

特定健診を受診された方全員に、健診結果から今の健康状態を把握し、生活習慣の見直し・改善のきっかけとなる情報を提供します。

② メタボ予備群の方に 動機付け支援

初回に面接を行い、現在の生活習慣を振り返り、メタボリックシンドロームを予防するためにどうしたらよいかを保健師や管理栄養士と一緒に考え、そのための行動目標を立てていきます。面接から

6カ月後に取り組みの結果を確認します。

③ メタボに該当する方に 積極的支援

現在の生活習慣を振り返り、メタボリックシンドローム解消のための行動目標を立て、実践していきます。保健師や管理栄養士が、3～6ヶ月間、継続的に生活習慣改善のための支援を行っていき、初回の面接から6カ月後に取り組みの結果を最終確認します。

身体に良いこと始めよう！ 健康アップ教室で体質改善

食生活や運動習慣を改善したい、健康づくりを始めたい、身体にいいことを始めてみたい・・・そんなあなたにお勧めの教室があります。

食生活などの生活習慣を見直し、あなたと同じ健康の悩みをもった仲間と一緒に運動をしてみませんか？

■日 時

9月24日（木）から開始
9時30分～
※週1回、3ヶ月間

■場 所 保健福祉センター

■参加費 無料

※詳しい日程等については次回9月号でお知らせします。

■健康相談日

毎週月曜日・木曜日
9時30分～16時

☆特定保健指導の対象にはならなかったものの、個人的に健康に関して相談したい方にも健康相談日を設けていますので、ご相談下さい。

使ったためよう筋力貯筋 「いきいき貯筋クラブ」 いよいよスタート！

8月下旬から、各地域の公民館で健康運動指導士の指導による「いきいき貯筋クラブ」がスタートします。

これは、転倒予防に必要な、筋力・バランス能力・柔軟性等の体力維持の向上をはかるものです。

また各地区1回、〇の健康について学ぶ「健〇教室」と栄養について学ぶ「シルバークッキング教室」も併せて開催します。

■対象 概ね65歳以上の方

■内容 体力測定・健康体操・筋力向上運動・コミュニケーションゲームなど

■申し込み シルバークッキング教室のみ申し込みが必要

要です。（各会場にて）貯筋クラブと健〇教室は直接会場へお越し下さい。

油断しないで 熱中症！！

今年も例年同様猛暑になることが予想されます。熱中症を正しく理解し、早めの対策、予防に努めましょう！！

■予防するには

- ・こまめな水分補給
- ・扇風機、エアコン等を活用した室温調節
- ・日傘、帽子、通気性の良い衣服の着用。
- ・炎天下での長時間の活動を避ける。

■担当者

健康運動指導士

シニア健康サポーター

市保健師

■持ち物

飲料水 体操ができる服装 室内用運動靴

※詳細及び日程表については全戸配布をします。

■12・13ページに関する 問い合わせ

保健福祉センター

☎ 2314310





笑 顔が素敵なんつていますよね。作り笑いでもない、心から笑っていて癒される人。そのさりげない素敵な笑顔が自然と出る人は相手を楽しませたり、自分自身も楽しんだり出来るのだろう。

しかし、そんな笑顔や優しさがある人は本当は苦労を重ね、大変な思いをし、それを乗り越えて来たからこそ楽しい時には心から笑えて、人に対しては優しいのではないだろうか。

今回ご紹介する穂坂町で手作り雑貨の工房「比奈の家」を営む大柴ゆかりさん。彼女もまたその素敵な笑顔でみんなに幸せを届ける活動をして

いるひとりだ。

子育て経験が活動の原点

大柴さんは障がいを持ったお子さんを含む3人の子どもを持ち、日々、育児・子育てに追われる毎日だったそう。お子さんに寄り添い、それぞれの将来を考えたとき、今から子どもたちと一緒にできること、子どもたちにしてやれるは何かを考え、若い時から得意だった手芸などの「手しごと」を始めるようになったと言う。当初は趣味程度だったが、しだいに活動の幅も広がり、自宅の敷地内に工房もつくり、手しごとを通して多くの方とも繋がりができた。

5年ほど前からは、こうし

シリーズ にらさを元気にする人たち⑨

虹色の笑顔で幸せをつなぐ。

しあわせマルシェ発起人 大柴ゆかりさん

た方々と一緒に市民交流センター二コリで定期的に開催する手作り雑貨などを販売する「しあわせマルシェ」を主催するまでになったと言う。

「子育てに悩みを抱えているお母さん方はたくさんいます。手しごとを通してお母さん方の力になりたいんです。」しあわせマルシェにはそんな想いが込められている。

今ではこの活動をさらに発展させ、仲間と一緒に「虹色プロジェクト」を立ち上げ、子どもたちが自由な発想で描く絵を「型染め」という染色法でトートバッグなどの作品をつくるワークショップなどを開催している。

子どもたちは自分の絵が作品になることで自信を持つようになり、お母さん方も作品を作ることにストレス解消や、物を作りあげるという感動と喜びを得られるのだと言う。

また、ワークショップに参

加するお母さん方の悩みを聞き、共有することで少しでも元気になつてもらえる場になりたい。それが虹色プロジェクトなのだ。

生まれ育った韮崎が 好きだからこそ

「良くも悪くも、私は韮崎から出たことがないんです。生まれ育ったこのまちが好きだから、このまちのことを多くの方々に知ってもらい、好き



虹色プロジェクトでのワークショップの様子

になつて欲しいんです。」と大柴さんは話す。

7月には、本市が推進するまちなか活性化事業の一つで、空き店舗を活用したチャレンジショップを利用して、しあわせマルシェやワークショップなどを開催した。商店街で活動することで、参加者にまちなかの事を知ってもらうのが狙いだ。

また、二コリ3階の子育て支援センターとの協力体制をつくり、ワークショップの参加者のお子さんを中心に託児してもらつサービスも提案。育児や子育てから少しの時間ではあるが離れていただき、気持ちのリフレッシュしてもらう取り組みもしている。

「お母さんの笑顔には、子どもや、お父さん、そしてまちを元気にする力があるんです。」と笑顔で話す大柴さん。笑顔って素敵な魔法ですね！（取材・記事 広報担当 歌田）



「ニコリ」来館者150万人！

平成 23 年 9 月の開館以来多くの利用者と賑わっている
 荏崎市民交流センター「ニコリ」の来場者が 6 月 19 日、150
 万人に達しました。150 万人目となったのは、荏崎市富士見
 2 丁目にお住まいの、島田美帆さん愛菜ちゃん親子で、内藤
 市長から花束や記念品がプレゼントされました。ちょうどこ
 の日は愛菜ちゃんが生後 10 ヶ月になった日でもあり、母親
 の美帆さんは「週 2 回は子育て支援センターに遊びにきてい
 ます。150 万人目とのことで、生後 10 ヶ月目とダブルで記
 念になりました。これからもニコリを利用していきたいです」
 と喜びを語ってくれました。

薬物の乱用は絶対にダメ！

危険薬物の乱用を無くし、皆さんが犯罪とかかわりなく安全
 かつ安心して生活できる社会の実現を目指して「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を啓発する「ヤング街頭キャンペーン」が 6 月
 27 日にライフガーデンにらさきで、ガールスカウト山梨県第 9
 団、荏崎西中学校、荏崎工業高校、荏崎ライオンズクラブ、荏
 崎ロータリークラブなどの関係団体が参加するなか実施され、
 買い物客らへ呼びかけや啓発物品の配布などが行われました



美味しい焼きそばと歌の披露で 楽しいひとときを

6 月 16 日、荏崎市営の養護老人ホーム「静心寮」で慰問歌謡ショーが開
 催されました。これは、市内で青竹食堂を経営している円道春男さんが毎年
 ボランティアで実施しているもので、青竹食堂の名物の「焼きそば」が寮生
 に振舞われたほか、歌手の小島加奈さんと信玄ロックの皆さんによる歌の披
 露も行われました。

今年で 9 回目となる慰問ですが、寮生の皆さんも毎年この日を楽しみにし
 ているそうで、美味しい焼きそばに舌鼓を打っていたほか、歌謡ショーでは
 一緒に歌ったり、歌に併せて手拍子をしたりと、皆さん笑顔があふれる時間
 を過ごされていました。円道さんも、「寮生に焼きそばと歌声を届けて笑顔に
 なってもらうのが何よりの楽しみなので今後も続けていきたい」と話してく
 れました。ありがとうございました。

市民協働による環境美化活動

市では、市民の皆さんと行政が協働で進める清掃活動などの地
 域の環境美化活動（アダプトプログラム）を推進しておりますが、
 6 月 27 日に荏崎中央公園において、富士島建設、同協力会の皆
 さんによる環境美化作業が実施されました。作業には約 100 人
 の方々が参加し、中央公園内の除草やゴミ拾いを中心に作業が行わ
 れました。皆さんおつかれさまでした。なお、市では今後も市内
 各所の公園等の公共施設で、ボランティアとして美化活動をして
 いただける個人又は団体を募集しておりますので、作業を希望さ
 れる場合には市建設課までお問い合わせください。



くふいの情報



お知らせ

■ 市景観計画の変更案の縦覧について

市では、近年、普及が進む太陽光パネルについて、環境や景観への配慮が必要であると考え、景観計画へ追加する見直しを行う予定です。

市内に住所のある方や利害関係のある方は、変更案について意見書を提出することができますので、ご意見をお寄せください。

■ 縦覧及び意見書提出期間

8月3日(月)～17日(月)

8時30分～17時15分

※窓口での縦覧及び提出は土日を除く

■ 縦覧場所

建設課都市計画担当窓口

子育て応援ドリーム商品券追加販売のお知らせ

子育て世帯の方は、すでにご購入いただいた分も含めて20万円までご購入できます。(売り切れ次第終了)

■ 販売開始日

8月10日(月)

■ 販売場所

市役所 2 階商工観光課

■ 販売内容

1万円券(1枚)と千円券(3枚)のセット

■ 持ち物

世帯員の身分証明証(運転免許証など 顔 写真があるもの)

■ 問い合わせ

商工観光課商工労政担当
(内線 215・216)

■ 意見書の提出

書式は任意ですが、住所・氏名・連絡先を記入のうえ、郵送 FAX、電子メールまたは建設課窓口へ直接ご持参ください。(必着)

■ 提出先・問い合わせ

建設課都市計画担当

(内線 250)

kensetsu@city.nirasaki.jp

FAX 23-11215

■ 年金情報流出を口実にした犯罪にご注意ください

日本年金機構を名乗って口座番号を聞き出そうとする者や、「流出した個人情報削除してあげる」などと持ちかける者が現れています。

自分の情報が流出しているのでは? など、ご心配の方は、専用電話またはお近くの年金

事務所へご相談ください。

日本年金機構専用電話窓口

(通話無料)

☎ 0120-818211

■ 受付時間

8時30分～21時

(平日及び土日)

※詳細については地区回覧でお知らせします。

■ 問い合わせ

市民課市民担当

■ 国勢調査にご協力ください

総務省では、10月1日を基準日として「平成27年国勢調査」を実施します。

国勢調査は5年に1度実施される、全世帯を対象にした統計調査です。行財政や生活に直結する様々な場面で活用される重要な調査ですので、ご協力をお願いします。

■ 調査の方法

紙の調査票のほか、インターネットでも回答できます。

■ 問い合わせ

企画財政課企画推進担当

(内線 357)

相談

■ 山梨県弁護士会主催 無料法律相談会 (要予約)

9月は市主催の法律相談に加え、県弁護士会主催の法律相談も実施します。

■ 日時

9月3日(木)

13時～16時

■ 場所 市役所 401 会議室

■ 定員 6名(要予約)

■ 相談時間 一人30分以内

■ 予約日 8月17日(月)

8時30分から(電話予約可)

■ 申し込み・問い合わせ

企画財政課企画推進担当

(内線 356)

■ 土地の境界問題に関する相談会 (要予約)

土地家屋調査士と弁護士が協力してご相談に応じ、公正・迅速・円満な形で土地問題の解決をお手伝いします。

※電話での相談対応はできませんので、必ず予約後にお越しください

■ 申し込み・問い合わせ

境界問題相談センターやまなし

(甲府市国母 8-113-30)

☎ 055-1225-3737

福祉・保健

■ ひとり親家庭医療費助成受給者証の更新手続きのお願い

受給者証は、8月31日で有効期限が満了になります。

更新のご案内を8月上旬に郵送しますので、確認の上、手続きをお願いします。

※新たに要件に該当する方も申請書をご提出願います。

■ 支給要件

・18歳以下の児童を養育して

■ 市議会議員 一般選挙

投票日は10月4日

■ 告示日

9月27日(日)

■ 立候補予定者説明会

8月24日(月)

9時30分から

市役所 4 階 大会議室

※詳細は次回9月号でお知らせします。

■ 問い合わせ

選挙管理委員会事務局

(内線 332・334)

いるひとり親。

・申請者が市内に住民登録されていること

・申請者の平成26年分の所得税が非課税であること。

※扶養義務者と同居している場合はその方にも所得制限があります。

■ 申請期間

8月3日(月)～14日(金)

■ 問い合わせ

市民課国保医療担当

(内線 127)

129・137

献血にご協力ください

- 日時 8月20日(木)
9時30分～11時30分
12時30分～15時30分
- 場所 市役所東側駐車場
- 問い合わせ
韮崎市献血推進協議会
☎23-4310

農業・林業

農家子弟Uターン就農推進事業の募集のお知らせ

県内に移住し、親族の農業経営体に就農し、将来的に継承する意向のある方に対して就農を支援します。

☆事業対象者1人あたり年間150万円を交付します。

※同一の事業対象者への交付は、最長で2年です。

■問い合わせ

県中北農務事務所
☎23-3292

山林所有者の皆様へ

県は森林環境税を導入し、民有林の間伐や県産材の導入の促進に活用しています。条件付きですが、県負担で所有林の間伐等を行う制度もありますので、ご希望の方はお問い合わせください。

■問い合わせ

県中北環境事務所
☎23-3089

★防災週間(8月30日～9月5日)

の期間中に「災害用伝言サービス」の体験利用をしてみましょう。

・峡北森林組合
☎26-2300

・農林課農林振興担当
(内線223)

各種イベント

円野町かし祭り

のどかな田園風景が広がる円野町恒例の「かし祭り」。世相を反映したユニークなかしが立ち並びます。

■展示期間

8月10日(月)

■人気投票の表彰式

9月20日(日) 13時～14時

■会場

つばらの会館

■問い合わせ

円野町かし祭り実行委員会
☎27-2223

桃狩りと穴山歴史フットパス

穴山町ふれあいホール運営協議会では、桃狩りと歴史散策フットパスを行います。

■日時

8月9日(日)
9時30分から

■場所

穴山町さくら公園

■定員

30名(先着順)

■費用

1,500円(昼食付)

■持ち物

飲み物

■申込期限

8月4日(火)

■申し込み・問い合わせ

農林課農林振興担当
(内線223・224)

穂坂自然公園イベント

①親子サクランボ

種飛ばし大会(無料)

■日時 8月8日(土)
10時～12時

■定員 親子30組(要申込)

②木と木の実の

マスコット作り教室

自然の木や木の実に動物や昆虫のマスコットを作ろう。

■日時 8月15日(土)
10時～12時

■定員 10名(要申込)

■初心者向け

マウンテンバイク教室

■日時 8月23日(日)
10時～12時(雨天中止)

■定員 20名(要申込)

■参加費 500円

■持ち物 マウンテンバイク・ヘルメット

■本立て作り教室

■日時 8月29日(土)
10時～12時

■定員 10名(要申込)

■参加費 500円

■申込開始(全イベント)

8月1日(土)から

■問い合わせ 穂坂自然公園
☎37-4362

民俗資料館イベント

①お蔵de落語(無料)

花子とアンの撮影に使用さ

れた蔵座敷(民俗資料館敷地内)で落語会を開催します。

■出演 にらさき落語会

■日時 8月16日(日)
10時30分～(12時終了予定)

■定員 35名

②どき土器・カワイイさがし

デッサンコンテスト(無料)

民俗資料館で土器のお絵かきをしてみませんか。

■期間 11月23日(月)まで

■部門

こどもの部(中学生以下)
大人の部(高校生以上)

■その他 用紙は来館時に配布します。色えんぴつ・カラーペン貸し出し可。作品は順次掲示予定です。

募集

東京エレクトロン・韮崎文化ホール
文化ホールまつり2015
参加者募集

■開催日

10月4日(日) 10時～16時

①カラオケ大会出場者募集

参加資格 13歳以上の個人、または5名以下のグループ

※応募者多数の場合抽選

■開演時間 13時

■参加費 1組2,000円

■応募 申込書に記入のうえ、持参またはFAXで申込

②フリーマーケット

出店者募集(出店無料)

■出店時間 10時～16時

■場所 ホール北側駐車場

■募集数 先着20区画
(18歳以上の個人・グループ)

■区画 4.6m×3.6m
(駐車場車2台分のスペース)

■応募 申込書に記入のうえ、持参またはFAXで申込

※飲食物の出店不可

※出店に係る道具、設備、電源等は各自で用意願います。

■申込期間(①②共通)

8月5日(水) 10時～

9月6日(日) 17時

■申し込み・問い合わせ

東京エレクトロン・韮崎文化ホール
☎20-1155

FAX 22-1919

12時間サッカー

参加チーム募集

韮崎市サッカー協会では、今年で22回目を数えるサッカーイベント「12時間サッカー」への参加を希望するチームを募集します。

■開催日 8月29日(土)

■場所 グリーンフィールド
穂坂

※詳細は問い合わせください。

■問い合わせ

教育課スポーツ振興担当

☎22-0498



平和の尊さや命の大切さ、戦争の悲惨さを語り継ぐ 『平和』について考えるパネル展等開催

ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下され、戦争が終結してから70年という節目の夏を迎えます。

第2次世界大戦中、荊崎でも936人の戦死者が出ており、かつて日本中で多くの人々が戦争の犠牲となり、苦しい思いを強いられた事実を風化させてはなりません。本市が昭和58年3月に「非核平和都市宣言」を行ってから、34年目を迎えました。過去の大きな過ちを再び繰り返してはならないとの思いから、次世代に平和の尊さや命の大切さ、戦争の悲惨さを語り継いでいくための『非核平和パネル展』を開催します。また、本年はシベリア抑留を体験した秋山利良氏による講演やヒロシマ・ナガサキの記録（16ミリフィルム）上映のほか、戦争と平和に関する書籍を展示する読書展等も同時開催します。

■非核平和パネル展

甲府空襲、七里岩地下壕パネル等の資料展示

●展示期間 8月11日（火）～23日（日）

●場所 ニコリ1階ロビー

■戦争と平和を考える読書展

平和であることの尊さ、戦争のない平和な世界を築くことの大切さについて考えてみませんか。

●展示期間 8月1日（土）～30日（日）

●場所 ニコリ2階市立図書館内

■朗読のつどい「青い目の人形」

昭和2年にアメリカから日本各地に贈られた「青い目の人形」を通して平和について学びましょう。

●日時 8月15日（土）

14時～15時

●場所 ニコリ2階市立図書館会議室

■問い合わせ

企画財政課企画推進担当（内線355）

※朗読のつどいは市立図書館 ☎22-4946

■平和や命の大切さを考える講演会

戦争中の体験談を聴く機会を通じて、平和の尊さや命の大切さを考えてみませんか。

●日時 8月14日（金）14時

●場所 ニコリ2階市立図書館会議室

●参加費 無料

輝く女性を応援!!

女性団体連絡協議会活動レポート②

「賢い消費者に・・・実践は足元から」

荊崎消費生活研究会

荊崎消費生活研究会は、県の消費生活講座の受講者が発起人となって昭和48年に発足して以来、行政とも関わりながら、活発な活動をしてきました。

年々悪質で巧妙になっていく振り込め詐欺やリフォーム詐欺による消費者被害が後を絶ちませんが、こうした被害に遭わないよう、悪質商法等の講座や講演を聴く機会を持ったり、豊かな心や健康で丈夫な体を育むために欠かせない「食」について食品表示の確認など、食の安全について学んでいます。

会員の高齢化や社会・生活環境の変化もあり、会員も年々減少していますが、先輩方が築いてきた足跡を汚さないよう会員24名が力を合わせ、活動目標に向かって頑張っています。

私たち消費生活研究会は、若い方のエネルギーを求めています。賢い消費者になるよう、様々な知識を収め、実践生活を通じ、みんなで支えあいながら、生活の向上を目指しませんか。

☆主な活動内容

- ・学習会（手芸教室・料理講習会など）
- ・県内への移動学習会
- ・県や市の事業（イベント）への協力及び参加

■問い合わせ

消費生活研究会 ☎25-5522（会長・小川）



第93回 荊崎高校 同窓会記念招待サッカー

荊崎高校同窓会では、同窓会記念事業の一環で千葉県習志野高校を迎え招待試合を開催します。

習志野高校は、全国高校サッカー選手権で優勝1回のほかベスト4に2回、また夏のインターハイでは優勝1回、準優勝1回、ベスト4に3回、昨年荊崎市開催の大会にも出場するなど全国屈指の名門校です。

国内トップレベルの高校と荊崎高校の実力を見る絶好の機会ですので、多くの方々に観戦していただきご声援をお願いします。

■日時 8月30日（日）雨天決行

12時キックオフ

■場所 荊崎中央公園陸上競技場

■対戦 荊崎高校 VS 習志野高校（千葉県）

■問い合わせ

荊崎高校同窓会事務局 ☎22-2415（保坂）

市民交流センター ニコリ イベント情報

ニコリ主催イベント

問合せ ☎ 22-1121

祝4周年記念

NICORR 祭開催!

ニコリオープン4周年を記念し、全館で様々なイベントを開催します!

■日程 9月6日(日)

※各イベントの詳細はニコリHPやチラシをご覧ください。
※内容が予告なく変更になる場合があります。

かぎ針で編む ビーズネックレス作り

■日時 8月29日(土)

13時~16時

■場所 1階会議室5

■受講料 1,500円

■定員 15名

甲斐の国激坂決戦! 戦国ヒルクライム in 韮崎・甘利山 選手の皆さんにご声援を!

■競技開催日 8月9日(日)

■会場(受付・開・閉会式)

みだい体育センター

(御勅使公園)

7時35分 開会式

8時スタート

12時 閉会式・表彰式

※みだい体育センターから甘利山入口までの旭バイパス沿道、及び甘利山入口ゲート付近で応援をお願いします。

大会当日は次の区間が 通行止めとなります!

■区間 甘利山入口から広河原駐車場

■時間 午前5時から午後1時

■問い合わせ 商工観光課観光担当
(内線 213・214)

■場所 3階多目的ホール

■参加費 無料

■定員 70名

市立図書館

問合せ ☎ 22-4946

工作遊び(参加無料) 手作りプロジェクト

■日時 8月15日(土)

14時~15時

■場所 おはなしコーナー

■対象 小学生以下

※3年生以下は保護者同伴

■定員 20名

■申込 図書館カウンターで

受付(電話可)

朗読のつどい(無料)

8月は朗読グループ、こつこの会とさざなみの会の皆さんが出演します。今月は終戦記念日にあわせ、紙芝居「青い目の人形」も行います。

■日時 8月15日(土)

14時~15時

■場所 図書館会議室

■夏休み子ども企画(無料)
『100人すごろく!』

問題をクリアしてゴールまで辿り着きましょう!

■開催期間 8月30日(日)まで

■参加方法 窓口で受付

※問題は小学生を対象ですが、年齢制限はありません。

子育て支援センター

問合せ ☎ 23-7676

夏休み中の利用時間変更のお知らせ

8月21日(金)までの平日は、保育園児・幼稚園児のご利用は14時からです。

にら☆ちびキッズクラブ 後期募集

未就園児とその保護者による親子スキンシップ遊び、体操やリズム遊び、製作活動などをみんなで体験するクラブの後期会員を募集します。

■日程(予定) 10月14日、11月18日、12月16日、1月20日、2月17日、3月16日

■時間 10時~12時

■募集人員 市内在住の1歳以上の未就園児とその保護者 若干名

■会費 2,500円

■入会時用品代 500円

■募集要項配布 8月6日(木)~18日(火)

■にら☆ちび 4周年まつり

おかげさまで4周年!感謝の気持ちをこめて、イベントを開催します。

■日時 9月6日(日)

①ケロケロシアター

季節の遊びや楽しいお話

11時から11時30分

14時から14時30分

②手作りおもちゃコーナー

10時~11時/13時~14時

※参加費 100円

③つりコーナー

10時~11時/13時~14時

※参加費 100円

☆各種イベントの他にも0歳から未就学児の親子には記念品をプレゼント。この日だけは小学生も入れますよ。※数に限りがあります。

中央公民館

問合せ ☎ 20-1115

ぬくもりいっぱい! 木のジャムスプーンを作ろう!

■日時 9月19日(土)

13時30分~16時30分

■場所 1階工作室

■内容 木を削ってジャムスプーンを作ります

■参加費 300円

■持ち物 古布きれ 鉛筆

■定員 15名

■講師 阿部光雄先生

■申込 8月10日(月)から

★「雁坂トンネル有料道路」7/1(水)~11/30(月)の期間は全車種無料。

◆にらさき遺産めぐり第12回

岩下の石尊権現祭り

夏に各地で水に関わるお祭りが開かれますが、その中の一つに岩下地区で続けられている石尊権現祭りがあります。

祠の手前に円く平らな石を等間隔に並べたお祭りの場所にしめ縄が張られ、提灯もぶら下がります。そして、日没を迎え暗くなると、裸になった地域の男達が石の上に座り、水をかけながら読経する水垢離がはじまります。「漸愧懺悔(ざんぎざんげ)。六根清浄(ろっこんしょうじょう)。大峰八大(おおみねはちだい)。全剛童子(こんごうどうじ)。大山大聖(おおやまだいしよう)。不動脈王(ぶどうみょうおう)。石尊大権現(しやくそんだいこんげん)。太天狗小天狗(だいてんぐしょうてんぐ)。哀患納受(あいみんのうじゆ)。一律礼拝(いちりつらいはい)」。呪文を何べんも唱えます。簡単にいえば「どうか私の犯した罪を許してください。私だけでなくみんなの罪も許してください」という意味です。

石尊権現の信仰は神奈川県伊勢原市の大山に鎮座する阿夫利神社が本社です。大山は古くから雨乞いの対象として知られてきた山で、江戸時代には大山講が関東各地で組織されて、爆発的人気を集めました。水に困った岩下地区の先人達が大山講を組織したのが始まりなのでしょう。人々と水との関係を伝えてくれる大切なお祭りだといえます。



★権藤はなよを偲んで ★穴山たなばた祭り

童謡「たなばたさま」の作詞者で荏崎市穴山町出身の詩人・権藤はなよの功績を広めようと、7月7日、穴山さくら公園で「たなばた祭り」が開催されました。

荏崎北東小の3年生や穴山保育園の園児らが参加したほか、権藤はなよの親族に当たる伊藤まなみさんによる、当時の話や作品の紹介などもありました。この後、参加者が「たなばたさま」を合唱し、公園内はたなばたさまの雰囲気になっていました。



●国民健康保険より

7月に荏崎市国民健康保険で支払った額(保険者負担額)は、138,465,383円(前年同月比5.85%減)で、1人あたりの保険者負担額は、17,648円(前年同月比2.82%減)でした。引き続き健康に気をつけ医療費の節約にご協力ください。

●市の人口 7月1日現在

	7月1日現在	(前月比)
男	15,200人(うち外国人177人)	-10人
女	15,419人(うち外国人261人)	-1人
計	30,630人(うち外国人438人)	-11人
世帯数	12,459世帯	4世帯

温泉・プールに入って ゆ〜ぶるにらさき
夏を楽しんじゃおう!

夏祭り

8月8日[土]
10:00~15:30

来館者特別サービス

①ソフトクリーム1個無料
10:00~15:00(9:30~引換券配布)

②スーパーボールすくい1回無料
(小学生以下のお子様限定)
10:00~15:00(9:30~引換券配布)

③二ーラと記念写真撮影
1回目 13:00~
2回目 14:30~

ゆ〜ぶるにらさき 0551-20-2222

